
喫茶店が消えた日

莓大福

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

喫茶店が消えた日

【Nコード】

N7101K

【作者名】

蓐大福

【あらすじ】

貴方は喫茶店が好きですか？喫茶店にまつわるお話です

(前書き)

個人経営の喫茶店の良さを淡々と書かれております

今日は少し趣向を変えて、持論を述べてみたいと思います。これを読んでいる皆さんの意見、感想を是非、お寄せ下されば幸いです。

僕には今すこしばかり危惧している事があります。喫茶店の数が激減している事です。

僕が今ここで言っている「喫茶店」とはスターバックス、ドトールのようなフランチャイズなものではなく個人で経営されているお店の事です。

僕はよく学生時代からそういう喫茶店が好きで、頻繁に行ったものです。小説やドラマに出てくるようなお洒落なカフェテラスがある喫茶店、渋いマスターがいたりとかする喫茶店、などとはほど遠いちょっと小汚くカウンター越しに「タメ口」もしくは「上から目線」でものを言う、マスターというやりただの「おじさん」のいる喫茶店が好きでした。

店内には大昔のテーブルゲームが数台置かれ、本棚にはちよつと汚い古い漫画などがびっしり、メニューもシンプルで。スパゲッティはミートソースにナポリタンのみ、ご飯類はエビピラフのみ、パン類はトーストにサンドイッチのみと選択肢が極端に少ないのも特徴です。テーブルはすこくちやつちいののに、何故かソファはかなり豪華で座りごちが良くそのアンバランスがまたポイントのひとつです。

僕が通っていた喫茶店の「おじさん」はちよつと

ちよい悪おやじで当時僕が高校生だった頃、制服を着て店内でタバコ吸っても怒る事無く黙認してくれました。

その店はそのうち僕の通う高校の生徒に占拠され、常に店内は火災が起きているかのようにタバコの煙が充満していました。店内では他にトランプや花札で懸けごとをしたり、それはもう不良の溜まり場となっていました。今から20年前の話です。

当時僕は不良でもなんでもない、ごく普通の高校生でしたが娯楽の少ない時代でしたので楽しみと言えばそんなものです。だからそういう事が公然と出来る場所がありました。

今、そういう喫茶店がありますか？ほとんどないと思います。メニューも豊富で店員さんのサービスも最高。接客も完全にマニュアル化され、高校生が堂々とタバコなんぞ吸えば警察に通報されかねません。それってすごく素晴らしい事なんですが、僕にはちょっと悲しく思えます。アウトローの憩い場は必要かと思うのです。時代の流れでそういう喫茶店は淘汰され、厳しい経済状況を生き抜くにはシステム化して更に合理化していく。一杯300円のコーヒーで2時間も3時間もいられたら、そりゃ儲かるはずもあります。いかに「回転率」をあげるか現代の喫茶店事情といったところでしょうか？

今は更にネットカフェの存在がのしかかり、個人経営の喫茶店に追い打ちをかけている事でしょう。

大手のマクドナルドも食事時以外の集客率を狙ってコーヒーの種類を増やしています。これらの現状を考えて今後を推測すると個人で経営されている喫

茶店は今以上に困難が予想されます。もしかしたら数年後にはなくなっているかもしれないね。

僕にとって「喫茶店」とはちょっとした人生の教科書のようなものでした。少しオーバーな言い方も知れませんが、アウトロー達が今までもな社会人として普通の生活を送れているのはこういった場所で誰かが人生を教えてくれる人がいたからかも知れません。

おわり

(後書き)

今日も読んでくれてありがとうございます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7101k/>

喫茶店が消えた日

2010年10月28日05時06分発行